



2018年1月26日

## フィリピンにて開催の「ビジネスマッチングフォーラム」に参加

ボルカノ株式会社（以下 ボルカノ）は、2018年2月22日 フィリピン マニラにて開催される、（一社）日本海事協会と（一社）日本船用工業会の共催による「フィリピンー日本 ビジネスマッチングフォーラム」に参加します。ボルカノは、「LNG燃料対応などのボルカノ環境対応技術」と題したプレゼンテーションを実施します。

### PHILIPPINES-JAPAN BUSINESS MATCHING FORUM

#### (Maritime Industry)

日時： 2018年2月22日 13:00~19:00

ボルカノによるプレゼンテーションは

15:55（約15分間）を予定

開催場所 フィリピン共和国 マニラ

会場 ダイヤモンド ホテル フィリピン

※英語表記は

Diamond Hotel Philippines

住所 Roxas Boulevard, Corner Dr. J. Quintos Street,

Manila, 1000 Metro Manila, Philippines



アジアの経済発展により重要性が増す船舶及び海運の分野において、船用機器が環境に与える負荷を軽減していきたいとボルカノは考えており、「きれいな海を守る」、「青い空を守る」ため、船舶へのLNG（液化天然ガス）燃料導入対応（製品例：LNG燃料船向けBOG処理装置「MECS-GCU（メックス ジーシーユー）」）、廃油・ビルジの濃縮における完全クローズドシステム（廃油まじりの水・ビルジの海洋への排出ゼロ）などボルカノが培ってきている環境負荷軽減技術を提案します。

フィリピンの造船／船用工業関係者、海運業界のみなさまのご聴講をお待ちしております。

出席登録 URLリンク（英語ページ）：<http://www.jsmea.or.jp/en/seminar/2018/philippines/>

ボルカノ株式会社 ホームページ： 日本語版 <http://www.volcano.co.jp/>

英語版 <http://www.volcano.co.jp/english/>

※写真は、LNG燃料船向けBOG処理装置「MECS-GCU（メックス ジーシーユー）」

以上

問合せ先：燃焼機事業部 営業部（TEL06-6392-5541）

[Info-m@volcano.co.jp](mailto:Info-m@volcano.co.jp) 担当 名定（なさだ）

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38



## Press Information

### <参考>

ボルカノ株式会社：1928年（昭和3年）、弊社創業者/初代社長、故・沖原辨治が国産初の低圧空気噴霧式

重油バーナの開発に成功し、“大阪重油炉製作所（当社の前身）”を興して以来、

バーナ燃焼技術とその関連エンジニアリングをコアとして広く産業界に貢献してきました。

新燃料：船舶からの排出ガス中の大気汚染物質（NO<sub>x</sub>、SO<sub>x</sub>及びPM）を削減するための規制が世界各地で強化されて

おり、2020年には世界全域で船舶燃料油の硫黄分濃度規制の強化が開始されます。

この規制に対応するため、硫黄分の少ない燃料油や天然ガスなど、さまざまな新燃料の普及が予想されています。

船舶へのLNG（液化天然ガス）燃料導入：石油に代わる燃料として、また、厳しさが増す排出ガス規制への対応と

して、活用の期待が高まる天然ガス。LNG運搬船においては運搬中のLNGタンクから発生

する気化ガスが燃料として活用されてきました。しかし、LNG運搬船以外の船舶でのLNG燃料の導入はまだ限られており、

日本国内では、2015年9月1日 日本郵船株式会社様より発表の“日本初のLNG燃料船「魁」”1隻のみの運航（2018年1月1日現在）となっています。

日本や海外各国でのLNG供給体制の整備などの条件整備により、LNG燃料船導入拡大が期待されています。

廃油まじりの水、ビルジ：船内で、船底に溜まる水をビルジと呼び、ビルジには油分が含まれている場合があります。

また、船内では潤滑油や燃料油を由来とする廃油が発生し、船内の清掃や洗浄の過程で水と混ざり合い、廃油まじりの水の状態となる場合があります。

廃油・ビルジ濃縮装置「ビルコンーX（イクス）」：廃油まじりの水、ビルジは船内のタンクに溜められます。

水分をたくさん含んだ状態では、タンクに溜まる廃油まじりの水、ビルジの量が多くなります。

この中から水分だけを簡単な操作できれいに蒸発させることにより、海上への油まじりの水の排出をゼロにする装置で、「きれいな海」を保つことに貢献しています。

また、操作が簡単であることと、廃油まじりの水の陸揚げ負担を軽減することから、

船内作業の軽減を図ることができます。

問合せ先：燃焼機事業部 営業部（TEL06-6392-5541）

[Info-m@volcano.co.jp](mailto:Info-m@volcano.co.jp) 担当 名定（なさだ）

ボルカノ株式会社 〒532-0034 大阪府大阪市淀川区野中北 1-3-38